

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2371100849		
法人名	株式会社エヌエス		
事業所名	グループホーム なごみの里		
所在地	名古屋市港区東蟹田1001番		
自己評価作成日	令和4年9月17日	評価結果市町村受理日	令和4年11月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人なごみ(和)の会
所在地	名古屋市千種区小松町五丁目2番5
訪問調査日	令和4年10月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所の代表者が所有する田んぼのお米“あいちのかおり”を一年を通して召し上がっていただき、採りたての野菜や果物(ジャガイモ、サツマイモ、大根やオクラ、スイカ等々)をこちら一年を通して召し上げていただいています。今年より施設の敷地に畑を作り、サツマイモとアスパラガスを育てています。育った作物は利用者様と収穫する予定です。現在はコロナ禍のため、私たちが大切にしていた外食や外出があまりできていませんが、気分転換のため、日々のお散歩はなるべく実行できるよう心がけています。理念のひとつである“笑顔の絶えない楽しい暮らし”を目指し日々皆様のお手伝いをさせてもらっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍で地域との関わりが減っている中、民生委員や地域消防団、地域小学校のこども110番等で関わりを深め、相互に協力関係を深め地域に根差した活動を継続している。ホームでの活動は、感染対策を配慮し脳トレや製作を個別レクで取り入れたり、庭先の畑を広く整備し季節の野菜の栽培し、収穫した作物での調理やおやつレクを行う等、利用者が季節を感じ退屈しない生活を支援している。個人の様子に合わせた日常支援を行い、利用者家族からも安心や信頼を深めている。利用者や家族の意向を大切に、職員で常にサービス向上に検討する体制を整え、「その人らしい生活をする」という理念を叶えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		○	63
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしい生活をする 笑顔の絶えない楽しい暮らし 地域に根ざした暮らしを理念とし玄関や各フロアに掲げて、職員一同、意識を持ちお仕事をさせてもらっています	理念について、職員入社時に掘り下げて話をする機会を作り、スタッフ会議や日常会話の中で話をして職員全体に浸透するように努めている。一日一回、利用者が笑顔になるよう、職員が率先して明るく笑いながら接して、理念を実現している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	現在はコロナ感染予防のため積極的な取り組みは行っていません。回覧板を届けていただいています。	近隣住民とは散歩時に挨拶を交わし良好な関係を築き、利用者は地域の一人となり安心して生活できている。民生委員とは、何かあれば相談してと声を掛けてもらえる関係を深めて、地域情報の収集や協働関係に繋げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方が迷われている時はお声かけをし、助けられるように努めています また逆に地域の方に私どもが認知症の方をお連れしていると大変ねと声をかけて下さることもあります		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染状況をみながら、運営推進会議の開催を決め、開催が難しい場合は文書にて照会させてもらっています	今年度も前年に引き続き、書面送付にて推進会議として情報収集、共有、関係性の継続に努めた。1回は通常会議を実施する事ができ、包括職員、民生委員、家族代表とコミュニケーションを図り、関係性を深めることができた。会議は主に運営報告を行い、実情を踏まえた意見交換の場として活用しサービス向上に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からないことは相談させてもらい、助けてもらっています また市町村の研修等には極力参加させていただき、勉強させてもらっています	区担当窓口、生活保護係へ直接出向き、実情を伝えたり相談する関係性を築いている。生活保護担当者が直接ホームに来所し利用者と面会する事もあり、利用者の生活ぶりを直接確認してもらう機会もある。市町村主催の研修の案内が届き、今年度の参加はないが参加の機会を設けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠のないケアを目指し、玄関、フロアの一部は職員間で相談し、解錠させてもらっています また、2か月に一度、身体拘束について話し合い、身体拘束をしない、させないケアに努めております	2か月毎に身体拘束適正化会議で拘束行為について話し合い、職員全体に周知し日頃の支援に反映するようにしている。施錠についてや夜間センサーマット使用を伴う転倒防止対策について職員間で検討し、危機管理とともに身体拘束に当てはまる行為について職員全体に意識付けができた。またマニュアルを整備し、入社時に勉強する機会を設けている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	情報共有に努めて、日頃より利用者様の様子や傷などを注意してみるように心がけております マニュアルをいつでも見られるところに置いています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルや研修会において学ぶ機会を設けています また身寄りのない方は身元引き受けの機関を紹介し、支援させていただいています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は入所時にひととおりご説明させていただき、理解していただいております また改定時には文書にてお知らせをさせていただいております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けたり、面会時に様子を伺い運営に反映できるように努めています	家族とは面会時に話をする機会を設けるよう心掛けている。また何かあれば電話やSNSで詳細に報告し、家族の安心に繋げている。利用者の変化や要望、家族の意見は連絡ノートや口頭で職員へ周知し改善に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の会話等により、意見を聞けるように心がけています 必要があれば個別に面談をおこなっています	管理者は、職員の顔色や様子を見て必要に応じて話をする機会を作り、相談しやすい関係性を築いている。イベント時の提案はできる事は率先して行う様にしており、職員の意欲向上に繋げている。希望休や研修の要望は可能な限り叶えるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人の実績や努力により反映できるように心がけており、職場環境・条件の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	力量を把握できるよう、努めています 可能な限り研修参加を促したいが現在のところは行ってはならず、介護の本をフロアにおいてみて個々に学習を促している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	港区事業者連絡会に加入させてもらっています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人に直接事前にお会いし、困っていることや要望を伺っています また特にサービス導入時は信頼関係がとれるまでいつも以上に注意し、対応させていただきます		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族にも事前にお会いし、困っていることや要望を伺い、安心していただけるように、信頼していただけるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人にとって一番必要なサービスを見極められるように努めており、場合によっては、違うサービスもご紹介させてもらっています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護をしているという立場ではなく、できることやできないことを互いに助け合い、感謝や敬意を表し、よりよい関係を築いていけるように努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との絆を大切にもらいながら、たまには一緒に会話等に入らせていただき、支援させてもらっています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の思いを大切に馴染みの方がいつでも来ていただけるような、環境づくりに努めています	家族からの電話の取り次ぎや手紙や年賀状等の支援を行い、相互の関係が途切れない様に努めている。生け花や絵画等の趣味の継続や、新聞を読む習慣の継続への支援も行っている。通院や美容院等は家族と連携を図り、コロナ感染の状況に応じて叶えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を見守りながら、時には間に入りながら、お互いにより良い間柄になれるように努めさせてもらっています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても病院等にいらっしゃる場合は情報共有等に努め、ご本人が孤立されないように努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	共同生活のため、伺えない場合もありますが、できるだけ、ご本人の意向に添えるように心がけています また本人本位に考えられるように努めています	生活歴など家族との面談で聞いたことをもとに話しかけ、反応をみながら思いや意向を確認している。特に、反応の薄い人には多方面からいろいろ言葉を投げかけ、笑顔が見られたり、興味がありそうなことを見つけたら、職員間で話したり、申し送りノートを活用、共有し、支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段の利用者様との会話やご家族に伺い今までの経過の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の情報共有に努め、小さいことも見逃さず共有できるように努めています また色々試しながらご本人の現状の把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度のフロア会議にて個々の利用者様のケアについて話し合っています またご家族にも近況をお話しし、意見等を伺いケアプランに反映させてもらっています	月ごとのフロア会議で全員分のモニタリングをしている。変化がなければ基本3か月ごとに、変化があれば都度、計画の見直しを行い、面会や電話連絡時に家族に確認してもらい、変更している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	小さな気づきも普段より申し送りやノートにて情報共有し、日々のケアに役立っている また見直しが必要な場合は常時見直しています 今後は24Hシートを導入するか検討している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様やご家族ひとり一人のニーズに応えられるよう、努めています また言いやすい環境づくりに努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の趣味を大切にしていつまでも続けていただけるよう、いつまでも自信を持っていただけるようにご家族と協力して安心して楽しく暮らしていただけるような支援に努めています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にかかりつけ医等伺い必要なときはかかりつけ医にかかっていたりいただけるように支援しています	かかりつけ医を主治医とすることもできる。協力医にかえてもらった人は月に二度の往診をうけている。皮膚科や眼科など専門医の診察が必要な場合は主に家族に対応してもらい受診しているが、職員が対応することもある。歯科は都度往診してもらえる。二週間ごとに訪問看護が入っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師に来てもらい、フロア毎にノートを作り、日々の利用者様の様子を相談していますその後必要あれば処置等を行っています。また職員にも看護師がおり、問題があれば相談しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には情報共有に努めています また病院関係者に色々相談にのってもらい、より良い関係づくりに努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りについては日々職員間にて話し合っています。早い段階ではご家族には相談していませんが、必要な時期に相談させてもらっています	入居時に家族の意向をきいており、事業所側は看取りも行うことを伝えている。看取りが近くなると、家族の思いを再確認、協力医、訪問看護、家族、事業所が連携をとりながら、その時を迎えるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルにて学ぶ機会を設けています また常勤の看護師に定期的に指導してもらっています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に3回避難訓練を実施しています。現在はコロナ禍のため、地域の方には参加していただけていません。	避難訓練の計画は3回立てているが、実施時期は変更になることもある。今年度は洪水想定勉強会を行い、また調査日以後、夜間想定避難訓練を、別日にもう一回、避難訓練を予定している。備蓄は三日分用意している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、冗談が言える方には言ってみたり、律儀な方には崩さず丁寧な言葉を心がける等、基本的には一緒ですが、個別に言葉かけや対応を変えることもあります	言葉がけには気を付けており、耳の遠い人にはわかりやすい話し方の工夫をしている。居室に入る時には入居者がほかの場所においても必ず声をかけてから入室している。廊下側からのぞかれるのが嫌な入居者の部屋には暖簾がかけられ、プライバシーへの配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境づくりに努めています また意思を伝えにくい方には答えやすい質問をするなど、なるべく自己決定できるように働きかけています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様にとって居心地のよい空間で暮らせるように職員の都合ではなく、利用者様の都合で暮らしていただけるようにお手伝いさせていただいています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様が気に入って下さるような身だしなみの援助を心がけています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自家栽培の野菜を中心に利用者様が喜んでいただけるメニューを利用者様やご家族に伺ったり、季節感や彩りも大切にメニューに取り入れています お手伝いも積極的に手伝っていただいています	日常の話や、様子をもとに好きな食べ物を把握し、献立に取り入れ、また自家栽培の野菜を使い季節感のある料理を提供している。正月におせちを用意したり、夏にかき氷を楽しんだりしている。畑の収穫や、調理の下拵えなどコロナ禍の様子を見ながらやってもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量は毎日記録し、水分摂取量も必要があるときは記録しています 個々に色々な食事形態や嗜好にもなるべく対応させていただいており、摂取量が少ない方には色々な工夫で召し上がっていただいております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	基本的にはご本人で口腔ケアをしていただいております できないところをお手伝いさせていただいております 訪問歯科の方にも助言をいただいております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握して、トイレの声掛けをして、トイレで排泄していただけるよう支援させてもらっています	排泄自立の人も多く、その人たちの排泄は確認のみであるが、それでも職員は食事前であったり、レクの前などタイミングを計りながら声掛けしている。そのほかの人にはチェック表も見ながらトイレで排泄できるよう声掛け誘導支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日課としてNHKのテレビ体操やラジオ体操等を取り入れています また散歩も真夏、真冬を避けそれ以外は散歩をさせてもらっており、筋力の維持に努めています 個別にも随時訓練を行っています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴が嫌いな方にはタイミングや声かけ等を工夫して入っていただいております またお好きな方は時間に余裕があるときには優先して入ってもらっています	一日ごとの入浴を基本にしている。現在は拒否の人はいない。気乗りしない様子の方も、声掛けしながら脱衣場まで誘導すると、自分から入浴してくれている。汚染があれば都度、シャワー浴などして清潔を保持している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり体調や気分によってお好きなように自由に生活していただいております またメリハリのある生活も大切にしています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が個々の利用者様の薬について共有できるよう心がけています また常日頃より利用者様の変化には注意し観察させてもらっています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味や特技を活かしてもらえるように努めています また、散歩や外食等で気分転換を図り、笑顔の絶えない楽しい暮らしを目指しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	帰宅願望の強い方にはご家族の協力も得て、外泊をしていただいたり、外出もコロナ前までは行っていました	職員と1対2、1対1で散歩に出ている。今年度はピクニックや畑の収穫にもでかけた。コロナの流行状況をみつつ、外食レクも行うことができた。月に一度ほど喫茶外食レクに出たいと計画をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所時にご家族と相談させてもらい、決めさせてもらっています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	代筆やポストへの投函を支援しています また電話の支援もさせてもらっています 個人的に携帯電話を持たれている方にも使い方等の支援をしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じていただけるよう、季節に合わせた貼り絵や作品を作ってもらっています また一日に何回かは窓をあけ、その日の気候を感じていただけるようにしています 庭にはハナミズキや金木犀等季節の木々が植えられています プランターにも野菜や花を育てています	気持ちのよいウッドデッキがあり、外気浴できる。居間にはソファが3台おかれており、入居者同志仲良く話している姿も見られた。壁面にずらりとみんなで作った貼絵や、習字、レクの写真が飾られており、季節感がある。共同で作った貼絵を作るうち、絵を描くことが好きになった人の作品も廊下に貼られている。庭木や家庭菜園も季節を教えてくれる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日向ぼっこの空間や3人用のソファ等それぞれに過ごしていただけるように工夫させてもらっています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にご説明をして使い慣れた物を持ってきていただいています また心地よい清潔な空間が保てるように心がけています	使い慣れた寝具や家具を持ち込み、使いやすいよう配置されている。テレビや机があり、好きな写真や、花が飾られ、にぎやかで明るい室内になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレには大きく文字を書いたり、居室やドアに好きな物を貼って分かり易くなるよう努めています		